

高根沢町新庁舎整備検討委員会 議事録

会議名	第7回 高根沢町新庁舎整備検討委員会
日時	令和4（2022）年11月24日（木）13：30～14：10
場所	高根沢町役場 第3庁舎1階 大会議室
出席者	<p>【委員】 佐藤栄治、小林修、牧恒男、笹崎明久、佐藤永倫、山本容子 寺内明日美、齋藤満則、加藤幸子、稲葉和彦、見目智史、加藤正秋 栗橋幸子、五月女昌寛、櫻井典子、軽部守人、伴内由香 （※欠席：檜山武郎、山崎康之、二宮絵美）</p> <p>【事務局】 石嶋総務課長、加藤室長、大貫係長、和智主事</p> <p>【オブザーバー】 ※梓・AIS・八千代エンジニアリング共同事業体 阿部光伸、石野順、山本景一</p>
傍聴人数	3人（内報道関係者2名、学生1名）
内容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）高根沢町新庁舎整備基本構想（案）について 事務局より資料1・資料2・資料3・資料4・資料5に基づいて、 ①高根沢町新庁舎整備基本構想の策定過程について ②基本構想に係る基本方針（案）について ③基本構想における建設場所・整備に係る概算費用について ④基本構想策定に係る今後の予定について の説明を行った。</p> <p><質疑等></p> <p>委員：基本方針の（1）について、誰もが使いやすく親しみやすい庁舎としているが、町民からすると利用しやすいということではないか。</p> <p>事務局：今回は案ということで使いやすくという記載をしているが、利用しやすいという記載にするかどうかを検討したい。</p> <p>委員：基本方針（2）についても災害に強い庁舎としているが、議会からの提言には防災の拠点という記載もあるため、基本構想の基本方針でも防災の拠点という考え方について検討してもよいのではないか。</p> <p>事務局：防災拠点としての考え方が、資料で提示している災害に強いという基本方針案の考え方に含まれているかについても整理した上で、基本方針に記載するか検討することとしたい。</p> <p>委員：議会からの提言書のように、ただ災害に強いだけでなく、災害時に中心的な役割を担って防災対策をやる庁舎という</p>

ような具体的な記載が良いのではないかと感じる。

事務局：基本構想の中では、大枠として方針の文言があり、その下に入る文章で基本方針に沿ってどのようなことを検討していくかなどの具体的な記載がされるため、どの部分にどのような文言を入れるかについては、事務局側で考え方を整理した上で、委員会で基本構想案を提示する際に説明をさせていただきたい。

委員長：資料4については、町の議会が町へ提出した提言書となる。本委員会はそれとは別に町へ答申を行い、それらの内容を町が検討した上で基本構想が策定される。

委員：機能的で柔軟性の高い庁舎とは具体的にどのようなことなのか。

事務局：町役場の組織で言えば、職員や課の数が増減することによって組織構造自体が変わっていく可能性がある。また、社会全体として、デジタル化が推進され、庁舎に求められる機能自体が変化していくこともある。それらの変化に可能な限り対応できる庁舎を検討していくという内容になる。

委員：組織や社会構造等のソフト面での変化に対応できるハードを作ることを目指していくということか。

事務局：そのような意味合いの記載になる。

委員長：資料に記載されている大枠の部分での策定過程や方針に沿って基本構想案の作成を進めて良いか、という事が今回の議事になっている。この部分だけはどうしても検討して欲しい等の意見がなければ、資料に記載された内容で、町が基本構想案を作成することを委員会として承認することとしたい。

(2) PPP/PFI 事業に係る民間事業者ヒアリング結果（速報）について

事務局より資料6・資料7・資料8に基づいて、PPP/PFI 事業に係る調査結果（速報）の説明を行った。

委員：PPP/PFI 事業を実施する上でのデメリットはないのか。

委員長：事業の途中で民間事業者が撤退する可能性もありデメリットはある。また、PPP/PFI を活用した事業を具体的に実施しようとした場合、事業内容や契約に係る条件が明らかになった段階で事業に参画しようとする事業者が全くいなくなってしまうという可能性もある。

3 その他

第8回・第9回の会議開催予定について確認した。

4 閉会